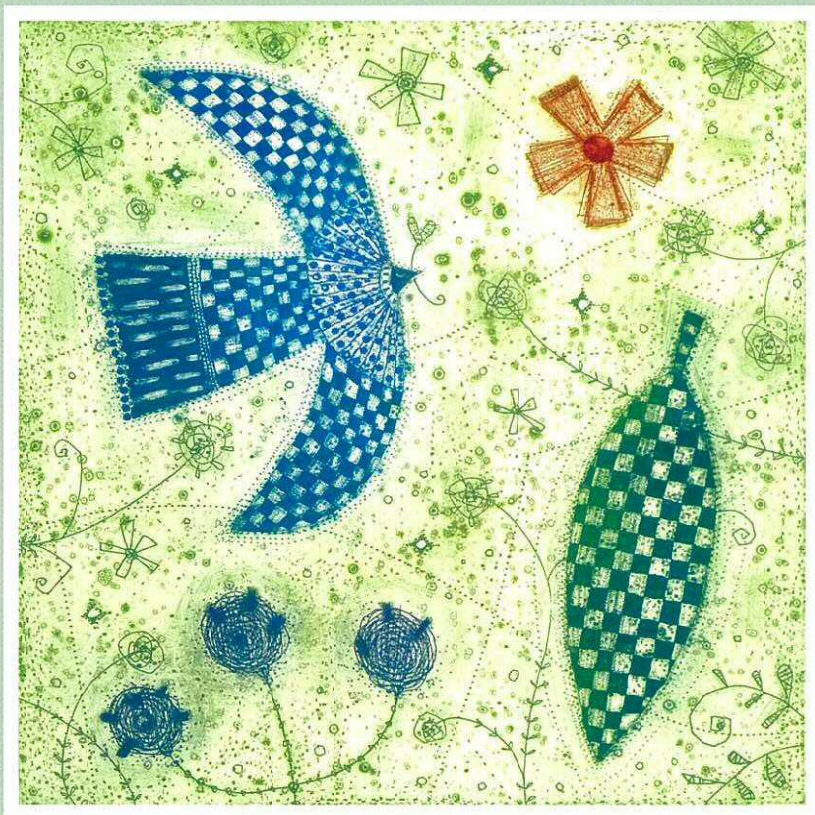


第113回 定期総会

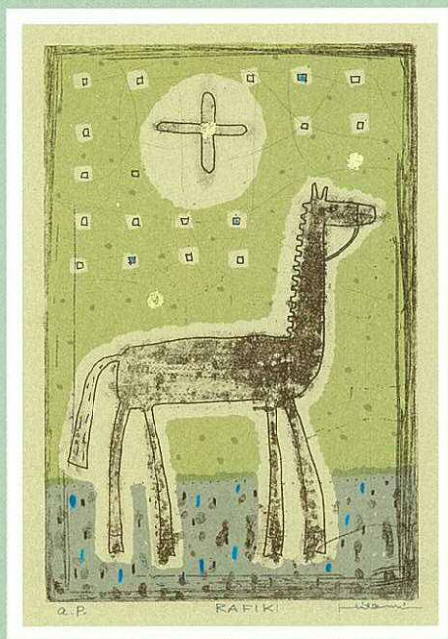
山梨県立甲府高等女学校同窓会
山梨県立甲府第二高等学校同窓会
山梨県立甲府西高等学校同窓会

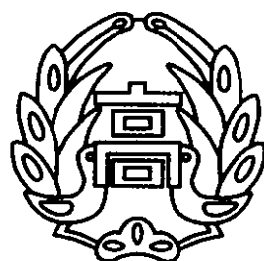


平成29年5月14日(日) 会場：甲府富士屋ホテル

Yamanashi prefectural Kofu west
high school alumni association

113th





ひろげよう!

世代を越えた「伝統の輪」

～今ひとつになる

この瞬間^{とき}を胸に～

— 第113回定期総会テーマ —

山梨県立高等女学校 校歌

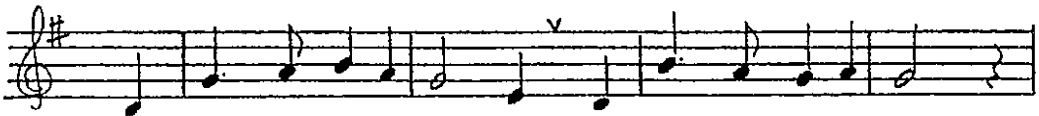
山梨県立甲府高等女学校

作詞 本多 龜 三
作曲 三谷 良 太

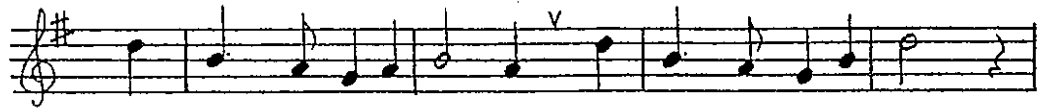
♩ = 96



1. そ こ つ い わ ね に ま き ー ば し ら



ふ と し き た て し ま な ー び や の



に わ に め ぐ み の つ ゆ ー し げ く



そ だ つ わ れ ら ぞ さ ち ー お お き

四

三

二

一

未だ二葉なる姫小松
教の雨にうるほひて
春立つ毎に色を添へ
榮えゆくこそめでたけれ

皇國に無雙勝景なる
金溪をしのぶ荒川の
清き流れを鑑とし
貞淑の心磨かなむ

皇國の鎮と峙ちて
千代に動かぬ富士の嶺の
靈しき姿を仰ぎつゝ
節操の心高めなむ

底つ磐根に真木柱
太しき立てし學び舎の
庭に皇恩の露繁く
育つ我等ぞ幸多き

山梨県立甲府第二高等学校 校歌

山梨県立甲府西高等学校

作詞 尾崎喜八
作曲 平井康三郎

一

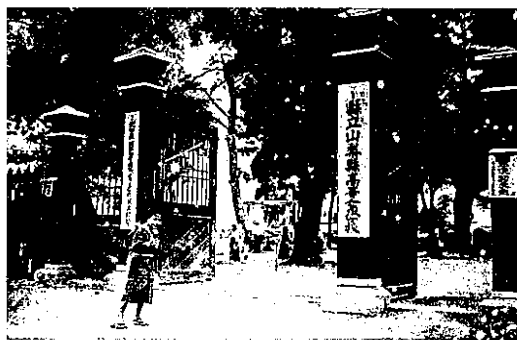
立ちならぶ四方の山々
めぐり出る豊のながれに
美わしや甲斐の國中
歴史古る大京都よ
こ、にして母校のいらか
玉の窓空に映えたり

二

身は鍛え心清めつ
いや深く学を修めて
世の幸と国の栄に
つくさなん高き理想よ
その夢のうつゝの姿
まなかいの富士に見るかな

三

峡深く結ぶ粗玉
磨かずば光あらじな
秀ずべき資性のさまざま
生い立たす愛の母校よ
称えなんとこしえかけて
甲府なる我が西高



甲府高等女学校



甲府第二高等学校



甲府西高等学校

総目次

とびら	
校歌	
甲女 西高	
総目次	1
写真頁	2～3
あいさつ	
甲府西高等学校同窓会会長	長坂光子 4
第113回定期総会実行委員会委員長	窪田淳子 5
甲府西高等学校校長	斉木邦彦 6

第一部 第113回定期総会

総会次第	7
平成28年度事業報告書	9～10
平成28年度同窓会収支計算書	11～12
第112回同窓会定期総会収支計算書	13
平成28年度事業報告 企画部	14
平成29年度事業計画書(案)	15
平成29年度同窓会収支予算書(案)	16
第113回同窓会定期総会収支予算書(案)	17
同窓会役員	18～20
同窓会会則	21～22

第二部 懇親会・アトラクション

懇親会次第	23
甲府西高放送部「ふるさと」	25
井上かおり ミニコンサート	26

特 集

あの頃あの時	27～35
--------	-------

がんばっている在校生

平成28年度全国大会・関東大会出場および活躍の記録	36
進路状況	37
N-stageより	38～39

広告・協賛者御芳名

広告	40～80
協賛者寄附者	80～96

甲府西高等学校第113回定期総会実行委員会、編集後記	97
----------------------------	----

奥付	98
----	----

同窓会2016

第112回定期総会 平成28年5月15日

テーマ：時を超えて未来につなごう～その笑顔に会いたくて～



第112回定期総会会長挨拶



新入会員の紹介



実行委員会引継ぎ



甲府西高音楽部 合唱



五緒川津平太・名執瞭子のトークショー



全員での校歌斉唱



万歳三唱



お疲れ様でした

在校生2016



4月13日 新入生歓迎会



5月27日 春季授業公開



6月30日 鳳凰祭①



6月30日 鳳凰祭②



7月15日 全国高校野球選手権大会



9月16日 芸術鑑賞会



9月30日 秋季球技大会



10月12日 健康の森ウォーキング



あいさつ

甲府西高等学校同窓会
会長 長坂光子

新緑のまぶしい季節になりました。

第113回定期総会を開催するにあたり恩師の先生方並びにご来賓の皆様のご出席と、大勢の同窓生の皆様のご参加をいただき盛大に開かれますことを心より感謝申し上げます。

今年のメインテーマは「ひろげよう！世代を越えた『伝統の輪』～今ひとつになるこの瞬間を胸に～」を掲げ、伝統と絆のもと、高26回生を中心に頑張っておこなっています。

昨年の総会では、過去男女共学の時代があり、二年目の方たちが傘寿を迎える年にあたっており、お声をお掛けしたところ、30名の方が参加して下さいました。例年より少なく残念でしたが、どうもありがとうございました。

伝統ある甲府西高も男女共学となって40年、甲府二高の時代よりも長くなって参りました。これからは同窓会も男性会員の同窓会への役員を含めた参加を更に広げることで、また違った形の同窓会が行われるのではないのでしょうか。

昨年のレクリエーションはNHKで放送された大河ドラマ「真田丸」にちなんで、「真田宝物館と真田丸大河ドラマ館」を見学する旅でした。バス二台の予定が一台になってしまい参加者が少なかったのですが、いつもの仲間に会え、楽しい一時を過ごすことができました。会員の交流を広げ絆を深めるレクリエーションでしたが、しばらくの間、休止させていただきます。

同窓会には長年少しずつ積み立ててきた預金があります。何かよい使い道はないかと思案し、在校生の勉学への支援を目的に、在校生に奨学金制度を設けたいと思っています。

今年は、役員改選の年にあたります。私も四期八年させていただきました。色々の方とお会いでき、ご指導やご助言をいただき何とかやってくることができました。人生の中で貴重な体験をさせていただき、感謝しております。

時代は大きく変化しております。まさにITの時代、スマートフォン一台あれば何でも出来るしまう時代です。ロボットが人間に代わって働く時代がもうそこまで来ています。でも、同窓会は人と人との絆を大切に伝統を守って行って欲しいと思います。

最後になりましたが、ご臨席の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げ、あわせて実行委員の皆様のご一年間のご苦勞とご協力に感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。



あ い さ つ

甲府西高等学校同窓会
第113回定期総会実行委員会
委員長 窪田 淳子

青葉若葉のさわやかな風の吹く季節になりました。本日ここに、山梨県立甲府西高等学校第113回定期総会を無事に迎えられることを大変嬉しく思います。これはひとえに多くの関係者の方の御協力と御指導の賜物とあらためて感謝申し上げます。

昨年の6月より私たち高26回生が中心となり、高6回生、高16回生、高36回生、高46回生が担当となり協力いただき準備をまいりました。20年前、10年前のお手伝いでは予想もしない程、様々な事項を先輩方がなされていたことを知ることとなりました。

今回のテーマは『ひろげよう！世代を越えた「伝統の輪」～今ひとつになるこの瞬間を胸に～』甲府高女、甲府二高、甲府西高と名称が変わり女子高であったり男女共学になったりと変遷がある県内でもめずらしい高校であることを想い、伝統の重みを改めて実感し、次世代にしっかりと繋げていく責任も痛感しました。また若い高36回生から時代の変遷も感じつつ、脈々と113回を重ねてここに私たち26回生も皆様のお力添えでひとつになり、次世代にバトンを渡していくことができることの感謝の気持ちを表しました。

アトラクションは、同じ学び舎で過ごされ活躍されている方や今まさに活躍されている在校生の多数の部活動から選択してご協力いただきました。多くの活躍されている方や部活動に同窓生として嬉しく思いました。

同じ学び舎で同じ時を過ごした高26回生の方々もそれぞれの歳を重ね、新たに同じ目標に向かって歩むことができました。皆様にご満足いただけるよう誠心誠意、準備をまいりました。いたらぬ点多々あるかと思いますが、皆様楽しいひとときを心ゆくまでご歓談いただければ幸いです。

最後に御支援、御協力を賜りました各企業、同窓会員各位、お力添えいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

伝統ある甲府西高等学校同窓会の益々の御発展と、皆様の御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げます。



あいさつ

山梨県立甲府西高等学校
校長 齊木 邦彦

立ちならぶ^{よも}四方の山々の緑が目にいっそう鮮やかに感じられる季節となりました。本日ここに、平成29年度甲府西高等学校同窓会第113回定期総会が、多くの同窓生の皆様のご参加を得て盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。同窓会の皆様には、母校の教育振興のために平素より格別のご後援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今回のテーマ「ひろげよう！世代を越えた『伝統の輪』～今ひとつになるこの瞬間^{とき}を胸に～」には、高等女学校から新制高等学校への変遷を経て現在を迎える本校の長い歴史と伝統のもつ意義が的確に表されていると思います。本校の創立記念日は5月1日です。その際、全校生徒に次のような内容の話をしました。

.....

本校は1902年(明治35年)5月1日、甲府市寿町、現在のコラニー文化ホールの地に校舎が完成し、県立山梨県高等女学校として開校式が行われました。学校制度の変遷とともに、大正13年4月には校名を甲府高等女学校と改め、太平洋戦争後の昭和23年4月、学制改革により甲府第二高等学校、また昭和50年の、ここ下飯田の地への移転後は男女共学化にあわせて甲府西高等学校と校名を変更し、さらに平成9年4月からは単位制に改編され、現在に至っています。今年度は創立115周年となります。いつの時代にもこの校舎に集う若者が日々の学校生活の中で、学業や部活動に一生懸命に励み、時に喜び、時に悩み、そして社会に巣立っていきました。伝統ということを強調しすぎるのはよくないかもしれませんが、どこかに重たい伝統というものがあるのではなく、同じ校舎に学ぶ若者の間に時代を超えて自然に受け継がれてきたものこそが伝統なのです。同時代に生きる者の連帯感と違って、異なる時代の人たちとの連帯というのはなかなか持ちにくいのですが、大切にしていきたい、大切にしてほしいと私は思います。さて、現在甲府西高校で学ぶ皆さん、何事にも一生懸命に取り組む皆さんの姿を私は見ていたいと思います。高校時代は人生の訓練のためにあるのではなく、何かの準備のためにあるのでもありません。人生には、訓練や準備と、本番との区別はなく、その時その時が一回きりのかけがえのない本番です。成果が出ない、などと焦る必要はなく、一歩踏み出すその一歩がすべてなのです。西高生諸君の健闘を心から祈ります。

.....

母校の長い歴史と伝統に支えられ、現在の西高生は充実した高校生活を過ごしています。教職員も、生徒の成長過程に関われることに誇りと喜びを感じ、甲府西高校のさらなる発展のために努力しています。校訓「自己を知り、自己を深める」のもと、単に知識を身につけるだけでなく探究心や思いやりの心をもった生徒の育成に取り組み、学習、スポーツや文化活動において大きな成果をおさめております。これもひとえに同窓会の皆様の温かいご理解・ご支援の賜であります。今後とも、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。

終わりに、同窓会定期総会実行委員の皆様方のご尽力に対し心から敬意を表し、同窓生の皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、ごあいさつといたします。